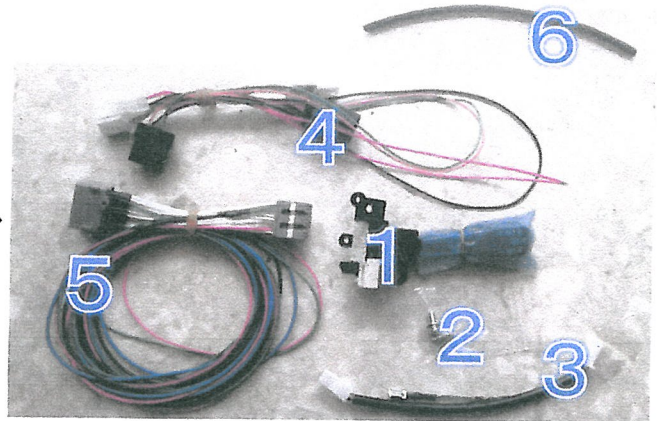


## トヨタ・86(ZN6)およびスバル・BRZ用クルーズコントロール取付キット取付説明書

本書はトヨタ・86およびスバル・BRZに、クルーズコントロール(以下クルコン)を追加するキットを取付する際の取付説明書です。

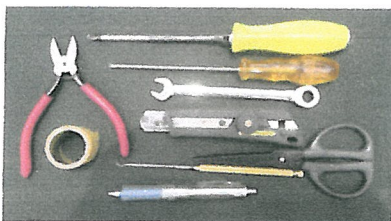
## キット内容:

- 1.クルコンスイッチ
- 2.クルコンスイッチ取付ネジ(2本)
- 3.ステアリング内追加ハーネス
- 4.運転席足元～コラム,ブレーキSWハーネス
- 5.ECU～運転席足元ハーネス
- 6.フチゴム

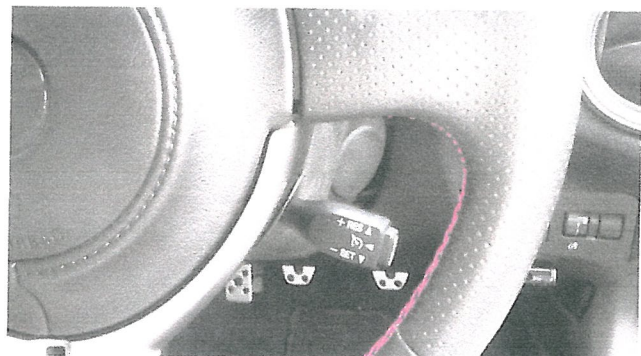


## 作業手順:

1. クルコンスイッチ取付部分をマスキングテープなどで養生し、加工角穴をケガキします。
2. ステアリングコラムカバーを外します。
3. バッテリーのマイナス端子を外します。
4. 運転席足元～コラム,ブレーキSWハーネスをコラム部へ取付します。
5. 運転席足元～コラム,ブレーキSWハーネスをブレーキスイッチへ取付します。
6. ステアリングのホーン部を外します。
7. ホーン部の配線を外して、ホーン部を上向きに置きます。
8. 1.でケガキした箇所をカッターナイフなどで角穴加工します。
9. 加工した角穴へ、フチゴムを付けます。
10. ステアリング内追加ハーネスを接続し、クルコンスイッチを取付します。
11. クルコンスイッチに接続したハーネスをステアリングに接続します。
12. ホーン部を車両に取付します。
13. 運転席・助手席のパネルを外します。
14. ECU～運転席足元ハーネスを取付します。
15. 運転席足元～コラム,ブレーキSWハーネスとECU～運転席足元ハーネスを接続します。
16. バッテリー端子を接続します。
17. 動作確認をします。
18. エンジンを止め、作業中に取り外した内装類を取付します。
19. 動作確認して完成です。

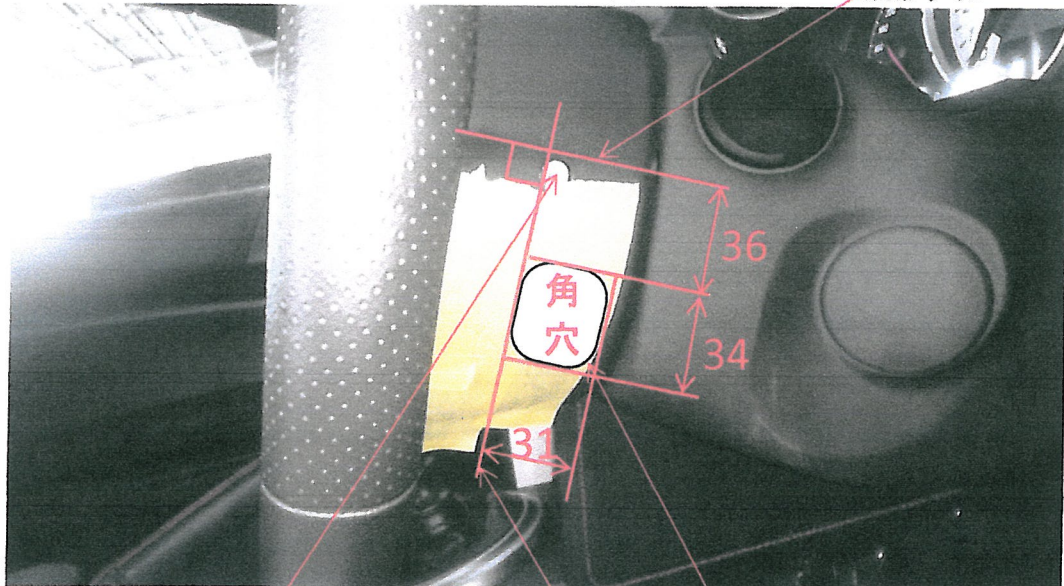


使用工具:(一部写真にはありません)  
懐中電灯・ビニルテープ・マスキングテープ  
+ドライバ・10mmスパナ・針状のもの  
ニッパー・カッターナイフ・配線留め(タイラップ等)  
ボールペン・定規・配線通し



作業手順:

1. クルコンスイッチ取付部分(ステアリング右下側)をマスキングテープなどで養生します。  
養生したマスキングテープに、加工角穴をケガキします。  
ステアリングカバーを別売りの輸出仕様用に変更する場合は、この作業は不要です。  
単位:mm 成形ライン



ホーン部取り外し穴

角は半径5~10mmで丸く  
ホーン部取り外し穴の接線で  
成形ラインから垂直なライン

2. ステアリングコラムカバーを外します。



ステアリングを90度回転させると固定ネジが見えます。  
これを左右ともドライバーで外します。

写真は左側ですが、同様に右側も行います。  
エンジンキーOFFの状態ではステアリングを回すと  
ステアリングロックが掛かりますので、  
回す時だけエンジンキーをONにします。  
ネジを外したら、ステアリングの向きは真ん中に戻します。

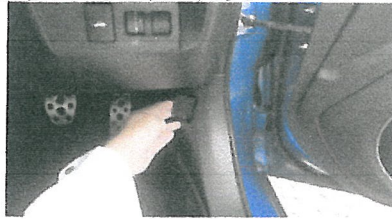


チルトレバーのロックを解除します。

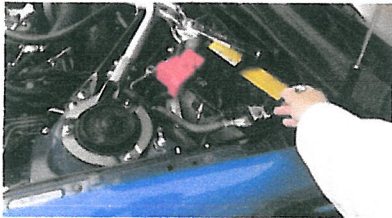


コラムカバーの下側だけ外します。  
外れにくい場合は、ツメに注意して下に引きます。

3. バッテリーのマイナス端子を外します。  
バッテリー端子を外すと、カーナビなどの設定が機種によっては消えてしまう場合がありますので、後で設定できるように、あらかじめメモなど記録しておきましょう。

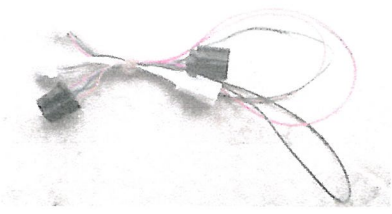


ボンネットをあけます。

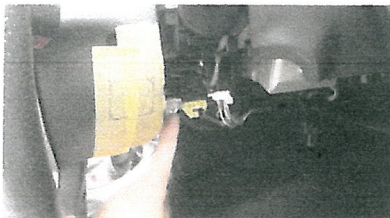


バッテリーは助手席側にあります。  
マイナス端子だけスパナ等(10mm)を使用して外します。

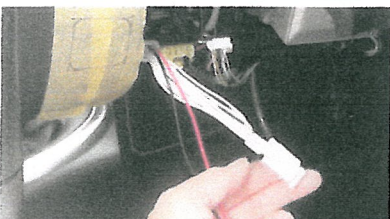
4. 運転席足元～コラム、ブレーキSWハーネスをコラム部へ取付します。



このハーネスです。  
ステアリングコラムとブレーキスイッチに配線し、  
運転席足元まで配線します。



コラム内のこのコネクタに接続します。  
純正のコネクタを外し、このハーネスのオス・メスを  
接続します。

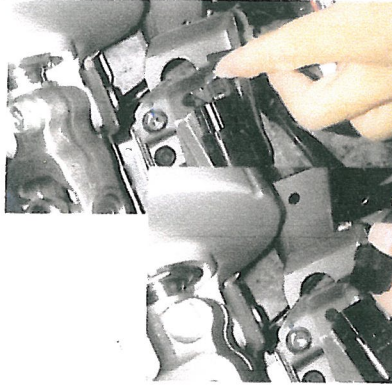


接続したところです。



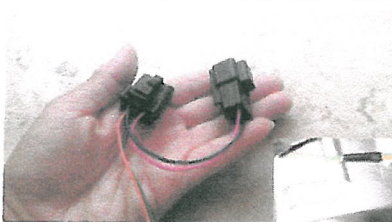
残りのハーネスは、ステアリングコラムの中を通し、  
ブレーキペダルの方へ引き回します。

5. 運転席足元～コラム、ブレーキSWハーネスをブレーキスイッチへ取付します。

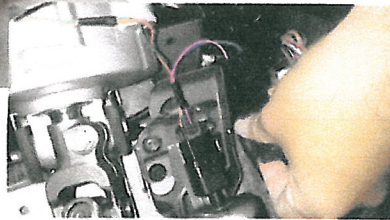


ブレーキペダル根元にある黒いコネクタがブレーキスイッチのコネクタです。体を上向きにして運転席足元に潜ると見えます。このコネクタを外します。

外しました。勘合が固めなので、コネクタのタグをしっかり握って外しましょう。



外したところへ、このハーネスのオス・メスを接続します。



接続しました。



残った4ピンコネクタは、運転席足元左側へ引き出しておきます。

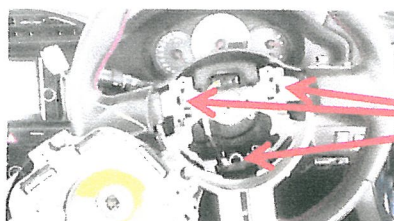
6. ステアリングのホーン部を外します。



ステアリングの左右と下にある穴から、細い棒などで奥にあるロック金具を押します。



押せると、「パクッ」と浮きます。

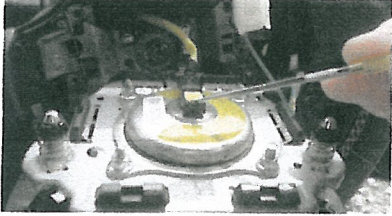


外したところの参考写真です。この3箇所を外から押すとロックが外れます。

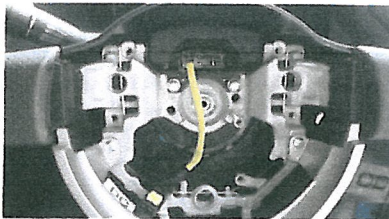
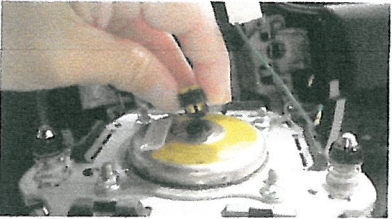
7. ホーン部の配線を外して、ホーン部を上向きに置きます。



ホーン部を外すとコネクタが接続されています。  
これを外します。



ホーンの裏にエアバッグのコネクタが接続されていますので、これを外します。  
黄色いロック部を、針状のもので浮かせ、コネクタを上引き上げると外れます。



外れました。

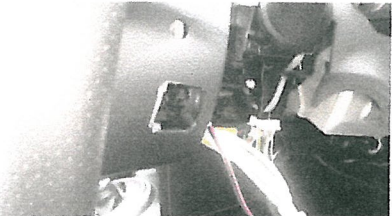


ホーンを押す側を上にして、作業に支障のない場所に置きます。  
(エアバッグ内蔵のため)

8. 1. でケガキした箇所をカッターナイフなどで角穴加工します。  
ステアリングカバーを別売りの輸出仕様用に変更する場合は、この作業は不要です。



最初は硬いですが、じっくり力を加えると「ジワッ」と刃が入ります。  
そこを足がかりに加工します。



加工したところです。

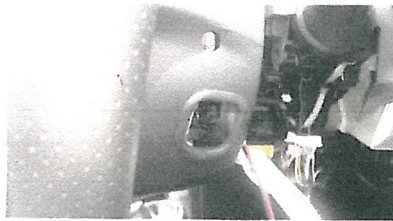
加工した穴へ、クルコンスイッチが通るか確認します。  
ステアリングの内側から通します。  
通らないようであれば、追加加工して再確認します。



9. 加工した角穴へ、フチゴムを付けます。  
ステアリングカバーを別売りの輸出仕様用に変更する場合は、この作業は不要です。

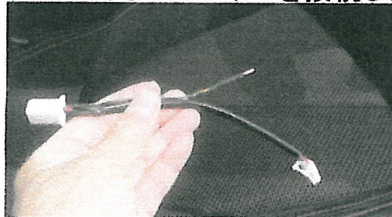


加工した角穴へ、フチゴムを巻きます。  
長めに付属していますので、角穴に合わせて  
切断して使用してください。



巻き終わったところです。

10. ステアリング内追加ハーネスを接続し、クルコンスイッチを取付します。



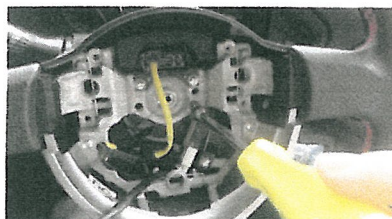
このハーネスです。  
クルコンスイッチに接続します。



接続したところです。

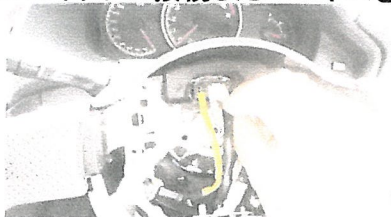


クルコンスイッチを取付します。  
ステアリングの内側から通します。  
固定位置に取付用ボルト穴と合わせ用突起があります。



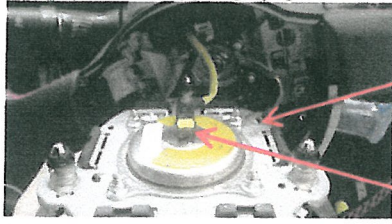
取付ネジで固定します。(2箇所)

11. クルコンスイッチに接続したハーネスをステアリングに接続します。



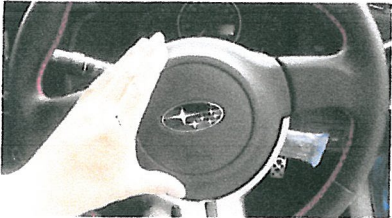
7.で取り外した白いコネクタ部分へ、このハーネスを  
接続します。

12. ホーン部を車両に取付します。



このハーネスには、もう1本平端子の線があります。ホーン部についている平端子(留め具付)の線ははずして、ここへ接続します。

7.で取り外した黄色いロック付の線を取付します。



接続ができれば、ホーン部を元に戻します。ロックが3箇所ありますので、3箇所とも確認します。

13. 運転席・助手席のパネルを外します。



写真の位置から外すと外しやすいです。

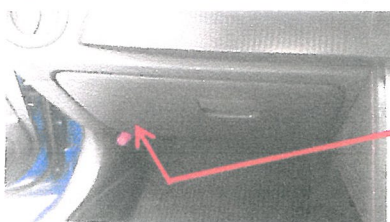


外した状態です。

14. ECU～運転席足元ハーネスを取付します。



このハーネスです。

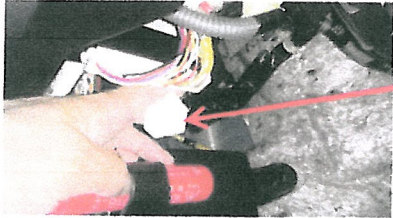


車両ECUへ接続します。場所は助手席左足元の奥です。



上図矢印あたりから上を見た写真です。

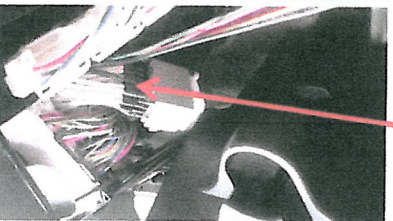
このコネクタを外して、配線に負担を掛けない程度引き出します。  
(斜めに付いているユニットの一番下のコネクタです)



引き出してきました。



ECU～運転席足元ハーネスには、同じ形状のオスとメスのコネクタが付いていますので、これをそれぞれに接続します。  
(純正配線に割り込ませる、という意味です)  
先にECUへ接続すると配線しやすいです。



接続したところです。

キットハーネスのコネクタに付いている線に曲げ方向の力が掛からないようにしてください。



接続したら、もう一方の4ピンコネクタのハーネスを運転席側へ引きまわします。  
13.で取り外したパネルのところを通します。

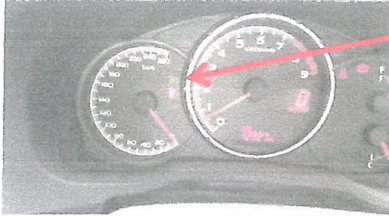


15. 運転席足元～コラム、ブレーキSWハーネスとECU～運転席足元ハーネスを接続します。  
5.で運転席足元に配線した4ピンコネクタと、14.で配線した4ピンコネクタを接続し、走行中に動かないよう、タイラップなどで他の配線に軽く固定します。

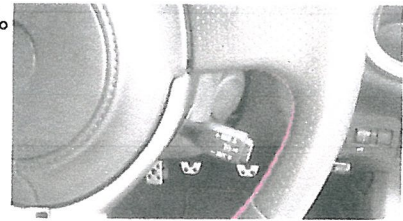
16. バッテリー端子を接続します。  
3.で取り外したバッテリー端子を元通りに取付します。



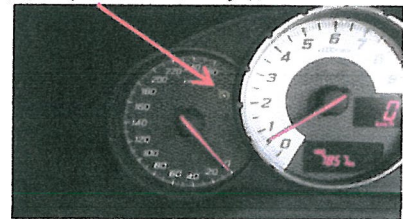
17. 動作確認をします。  
 エンジンを始動します。  
 クルコンスイッチのON/OFFを押すと、メーターにクルコンマークが点灯すれば動作okです。



18. エンジンを止め、作業中に取り外した内装類を取付します。  
 取り外した内装などを元に戻して作業終了です。  
 クルコンスイッチをカバーしていたビニールも外します。



19. 動作確認して完成です。  
 エンジンonでクルコンスイッチのON/OFFを押すと、メータ内のクルコンマークが  
 点灯/消灯します。(点灯でクルコンON)



以下クルコンONの状態での説明です。(基本的に他のトヨタ車と同じ動作です)

- ・時速40km/h～110km/hの範囲で、レバーを下に下げると、メータ内クルコンマークの上に「SET」が点灯します。これでクルコン動作がセットされ、一定速を保ちます。
- ・「SET」点灯状態で、レバーを上には上げると加速、下に下げると減速し、レバーを離すとその速度を保ちます。
- ・110km/hを超えてもレバーを上げ続けると加速しますが、レバーを離すと110km/h近辺まで緩やかに減速します。
- ・クルコン動作時に、ブレーキまたはクラッチを操作すると、クルコン解除され「SET」が消灯します。
- ・クルコン動作時に、クルコンレバーを手前に引くと、クルコン解除され「SET」が消灯します。
- ・クルコン動作時に、クルコンスイッチON/OFFを押すと、クルコン解除され「SET」とクルコンマークが消灯します。